

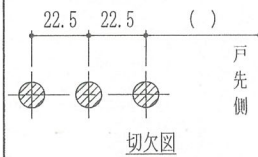
LB-411 / LB-412 表示付スライドラッチ取付説明書

取付方法

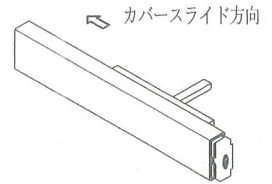
1. 切欠図に従って扉に穴(φ10)を3箇所開けて下さい。
ラッチ部のカバーを矢印の方向にロックするまで
スライドさせて下さい。
(ロックの際「カチッ」と音が鳴りスライドが止まります)

カバーが閉じた状態の製品については、下記「取付後の外し方」を
参照しロックを外しカバーを開放して下さい。

※()内寸法は、現場取付位置に
より設定して下さい。

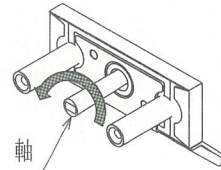


切欠図

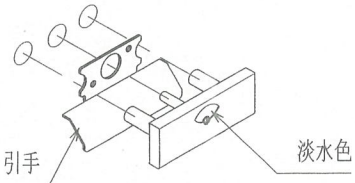


2. 表示部の軸を反時計回りに止るまで回し、
表示を淡水色にします。
表示部の取付足及び連結軸を扉切欠き孔に
引手を挟み込む様に挿入して下さい。

※LB-411に引手は御座いません。



軸

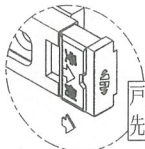


引手

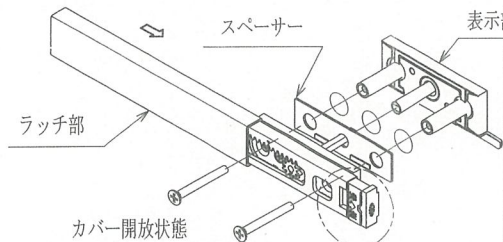
淡水色

3. ラッチ部の受側指示の矢印が戸先に向い
ているのを確認し、図のように扉切欠きに挿
入し、ビスをドライバーで締めこんで下
さい。カバーを矢印の方向にスライドさせ、
ロックして下さい。
最後にラッチ部を動かして、表示が連動しているか確認してください。

⚠ 本製品の取付に、電動ドライバーは使用しないで下さい。



戸先



スペーサー

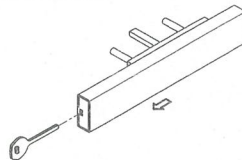
表示部

ラッチ部

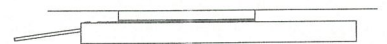
カバー開放状態

取付後の外し方

非常解錠キーをラッチ部戸尻側の孔に差込みカバーを
戸尻方向にスライドさせて下さい。

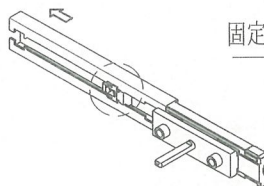


※非常解キーは、下図のように奥まで
差込んで下さい。

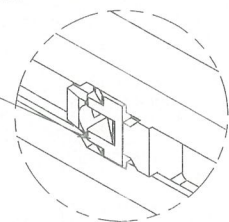


⚠ 注意

カバーをスライドさせて開けている状態で、
裏面の固定ブロックを押さないで下さい。
固定ブロックを押した状態で矢印の方向に
スライドさせるとカバーが外れ、
製品が分解する恐れがあります。



固定ブロック



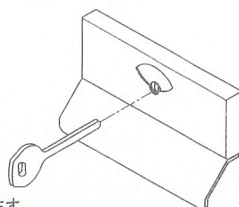
施工後は、非常解キーと共に本紙を施主様にお渡し下さい

非常時のスライドラッチ取扱い方法

非常解の方法

非常解キーを図のように表示器
中央の穴に挿入し、左右どちら
の開き方向でも時計回りにキー
を回して下さい。

※非常解キーは無くさないようにお願いします。



ラッチが解錠方向に作動し、
受(エッジ)から外れ、
扉を開放することが出来ます。

